

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.197

2020. 8. 1

「これからの育成会・組織について・今後の展望」

寄稿

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
専務理事 田中 正博



本年4月1日より全国手をつなぐ育成会連合会（以下：全育連）は一般社団法人格を取得しました。全ての都道府県47箇所と8つの政令指定都市、全国55カ所の支部（正会員）を社員として「一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会」の新たなスタートを切りました。さらには『手をつなぐ』の編集委員を長年にわたり担い、皆さまには各種講演での講師としてお馴染みの又村あおいさんを役員に迎え、常務理事兼事務局長として力を存分に発揮していただきます。また拠点となる事務所を新たに新宿区西新宿に構え東京事務所とします。滋賀県大津市にある滋賀事務所と併せて機能させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

組織

一般社団法人としての全育連には、事務局以外に事業を展開する機能が、政策センター（静岡県）・権利擁護センター（千葉県）・本人活動委員会（大阪府）・国際委員会（東京都）・事業所協議会（岩手県）と5つあり、事業幹事は括弧内の正会員が担っています。

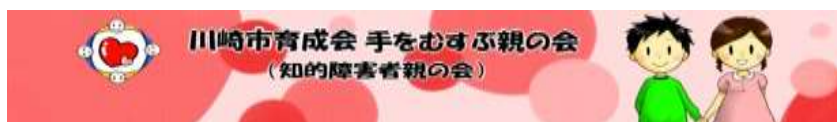
全育連の活動の柱は、知的障害者の地域生活を促進する政策提言と権利擁護になります。そのため政策センターと権利擁護センターを軸にして事業を展開してきております。

この30年、知的障害者の地域福祉を支える仕組みは着実な歩みをたどりました。特にこの10年は、利用者のニーズに応え速度を上げ進んでいます。国の予算は4倍近くに増えました。利用者も3障害とされてきた身体、知的、精神に加え、発達障害、難病と幅広く対象を拡大しています。知的障害の方々が必要とする支援には、障害者雇用、特別支援教育、そして虐待防止や差別解消、意思決定支援や選挙権回復などの権利擁護等、多種多様です。最近では文化芸術活動分野として、アール・ブリュットをはじめとする取り組みが進められてきています。障害福祉サービスは、対象の層を厚くし、支援の奥行きを広げています。これらの展開に対して全育連は大きな役割を果たしています。

(次ページへ続く)

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



私たち全国の育成会の連合会は、全国で10万人の会員数を擁する55の正会員からの声を集め、国や関係機関へ働きかけ、知的障害者福祉の向上を目指しています。その事は市町村で活動する皆さまの日常、それぞれの地域における知的障害のある人とご家族の幸せにつながる要望にもとづいた働きかけで無ければ意味はありません。

これからの展開

政策センターでは、毎年、国に対して予算に対する要望を行っています。時には必要な政策提言も行います。今年は独自に開発した「地域資源開発協働推進ハンドブック」を活用して、各地の市町村レベルでの育成会活動が活況となるよう働きかけます。

これは国の制度が改正されて新たなサービスが生まれても我が町には資源として使える機関が無い問題、いわゆる地域格差の解消を目指して作成しました。地域で活躍する育成会の皆さんが我が町の現状を憂える立場で行政や事業者の方を巻き込んで勉強会から始める仕組みです。特に相談事業者の皆さんにはカウンターパートナーとして共に積極的に働きかけて頂くようお願いしています。是非、皆さまも相談員をご活用下さい。

権利擁護センターでは、3つのプロジェクトを作っています。(1) 啓発キャラバン推進委員会 (2) 障害基礎年金チーム (3) 成年後見チームになります。

特に知的障害を多くの方に啓発していくキャラバン隊の動きは注目度の高いものです。このプロジェクト以外にも権利擁護セミナーを行い、年金の課題や成年後見の展望などについて多くの方に周知する機会を持ちます。

機関誌『手をつなぐ』では、上記の取り組みや、本人活動委員会の本人目線での情報や国際委員会における世界とのつながりを取り込みつつ、全国各地の実情を伝え世の中への働きかけに役立つように視点を持って編集しています。是非、機関誌『手をつなぐ』を多くの方に広め、共に地域作りに働きかけようとする仲間の方々とつながりを深めるためにご活用ください。

新たな取り組み

本年度から育成会連合会では障害のある本人とその家族の生活を支えるために育成会の団体保険をスタートします。収入のある家族が働けなくなった時に、その所得を保障する内容です。この保険では、万一ご家族が亡くなった時の「葬儀費用」や遺産分割などにかかる「法律相談費用」の支援が仕組みとして加えられています。

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会員の皆さまへ
手をつなぐ暮らしのおたすけプランは本部所在地にある各市区町村等の育成会の
会員とそのご家族のみがご加入できます。
当制度は一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の本体事業です。

親あるときの
方が一に備える
**手をつなぐ
暮らしのおたすけプラン
はじまります**

※1 団体長期障害所帯補償保険
障がいのある方とご家族、ご本人を支える支援者が病気やケガで働けなくなった時、収入をサポートします。

※2 葬儀費用等補償特約
障がいのある方とご家族、ご本人を支える支援者がお亡くなりになった時、残されたご家族を守るため葬儀費用や、成年(未成年)後見人制度を利用するための各種手続費用等を補償します。

お問い合わせ先
関西支部
〒590-0001 大阪府堺市東区
〒590-0001 大阪府堺市東区
〒590-0001 大阪府堺市東区

障害のある本人を支える家族を支える「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」として会員への福利厚生としてご案内します。ひいては会員拡大と組織強化(財源確保)の一助となるように取り組んでいきます。全国手をつなぐ育成会連合会は、役職員一同、ご紹介した活動を通して次世代につながる会員の確保がされ、手をつなぐ育成会としての運動が全国的に継承されていくことを目指します。

そのために精一杯取り組んでまいります。

保険期間 令和2年10月1日から令和3年10月1日

会長あいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会 長 美和 とよみ



盛夏の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
いつも当会の活動に、ご支援ご協力くださいましてありがとうございます。

さて、4月7日の新型コロナウイルス感染症拡散防止に伴う「緊急事態宣言」発令を受け、4月、5月の活動を中止いたしました。初めてのことで不安もありましたが、宣言解除後活動を再開し、第8回総会を書面表決で行いました。また、今後の研修会や余暇活動の開催に向けて、各委員会も準備を始めました。まだまだ予断を許さない現状ではありますが、安心して参加していただけるよう対策を講じたいと思っています。まずは、自分の身は自分で守ることを念頭に置きながら、今、出来ることを少しずつ進めてまいります。皆様も、お身体大切になさってください。

また、会則の改正で、目的の項に「知的障害児者とその家族のための福祉増進と、安心して地域で暮らせる共生社会の実現を目指して活動する」を追記しました。この目的に向かって、会員の皆様とともに考え、ともに活動していきたいと思っています。皆様の声が要望活動につながります。忌憚のないご意見をお聞かせください。

今年度は、第5次ノーマライゼーションプラン作成の年です。説明会等が開催されるのかどうか分かりませんが、パブリックコメントに参加してより良いものになるよう、力を合わせましょう。

最後になりますが、全国手をつなぐ育成会連合会から、台風19号で被災された会員の2家族と通所施設2件に義援金が届きました。全国の会員の方々のお気持ちをありがたく頂戴し、届けさせていただきましたことを、お知らせいたします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会第8回総会 令和2年度定時総会

会計 梅田 順子

新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言を受けて、当会も4月、5月の活動はすべて中止となりました。本来なら5月末に開催される定時総会も、予定通りに開催することは困難な状況になりました。そのため、第8回総会は書面表決の形式をとることになりました。代議員の皆様には議案書を郵送し、令和2年6月18日（木）必着で書面表決書をご提出いただきました。結果は以下の通りとなりました。

- ・総会日 令和2年6月19日（金）
- ・議決権を有する代議員及び役員 30名

【議案】 第1号議案	会則の改正（案）	賛成30、反対0、無効0
第2号議案	令和元年度事業活動報告（案）	賛成30、反対0、無効0
第3号議案	令和元年度決算報告（案）	賛成30、反対0、無効0
	会計監査報告	
第4号議案	令和2年度事業活動計画（案）	賛成30、反対0、無効0
第5号議案	令和2年度予算（案）	賛成30、反対0、無効0

【結果】 すべての議案について、可決されました。詳細は支部代議員にお尋ねください。

令和2年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

支部名	氏名	住所	電話番号
川崎支部	加藤 敦子	川崎区藤崎	211-4726
幸支部	角田 三津子	幸区下平間	522-3128
中原支部	西澤 知子	中原区市ノ坪	433-0662
高津支部	太田 理佐	高津区新作	877-2134
宮前支部	小澤 千枝	宮前区土橋	090-9233-1627
多摩支部	神田 明子	多摩区登戸	080-3213-9052
麻生支部	黒瀬 晶子	麻生区片平	986-9869
田島支援学校支部	荒井 典子	川崎区中瀬	245-0062
中央支援学校支部	鈴木 佳子	多摩区宿河原	935-3563

令和2年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 委員の紹介

	余暇活動	研修事業推進	広報	権利擁護
川崎支部	安達・山本 松本	加藤・齋藤	安達・小西	○阿部・山入端
幸支部	◎角田	三浦(ひ)	○高山・仁尾	◎仁尾
中原支部	福田	菅井	木村	○西澤
高津支部		◎太田	◎三浦(ル)	森・三浦(ル)
宮前支部			小澤	門間
多摩支部	○添田	○神田	神田	中村(多)
麻生支部	小林	磯・小林 (黒瀬)		熊谷

◎は委員長、○は副委員長、委員長は運営(総務)委員会に出席します。

令和2・3年度 知的障害者相談員の紹介

区分	氏名	電話番号	FAX番号
川崎	中央	伊東 早苗	222-2531
	大師	加藤 敦子	211-4724
	田島	中村 恵美子	333-9929
幸	仁尾 智都子	533-7460	533-7460
中原	吉野 明美	433-7303	433-7303
高津	三浦 ルイ子	856-4065	856-4065
宮前	梅田 順子	975-7074	975-7074
多摩	美和 とよみ	922-3015	922-3015
麻生	黒瀬 晶子	986-9869	986-9869
自閉症	齋藤 悦子	299-2887	366-6002
自閉症	後藤 智子	844-4181	844-4181
自閉症	小泉 佳世	987-5022	987-5022

何でも相談



令和元年度川崎市への予算要望回答について

会計 梅田 順子

3月24日（火）に川崎市からの回答を受け取りに三役で市役所に行き、意見交換を行いました。

1. 台風19号の被害について

市内の施設では「みやうち」と「わかたけ」の2事業所が被災しました。「わかたけ」は足首くらいまでの浸水がありましたが、5日程で再開できました。「みやうち」の被害は深刻で1階は1m50cm程まで浸水し、送迎車も水に浸かって使用できなくなりました。結局2月17日に営業を再開しましたが、その間利用者の皆さんはとても不便な思いをされました。当会としては、今後もこのような災害が発生することがありうると想定して、対策案を興じて欲しいとお願いしました。



2. 人材確保と育成

医療的ケア児等コーディネーター養成講座を開催しており、20名ほどが受講しました。来年度も開催の予定だそうです。

3. 地域生活支援拠点とその他の施設の予定について

高津区は「第1、第2やまぶき」跡地に生活介護、グループホーム、ショートステイ、相談支援センターや日中一時支援も入る予定です。

麻生区は「川崎授産学園」が建て替えて、地域生活支援拠点となります。令和5年度開所を目指しています。

まだ予定のない幸区と多摩区については、適当な土地が見つかっていないとのことでした。今後の進展を期待したいものです。

川崎区の「わーくす大島」「かざぐるま」の跡地は、どちらも障害計画課が管理している土地なので、何らかの形で障害者が利用できるものを建設したい。「南部身体障害者福祉会館」も老朽化しているので、そちらの建て替えに絡んでくるかもしれない。第5次ノーマライゼーションプラン策定の中で検討していきたいとのことでした。

南部入所施設については、建設は順調に進んでいるそうです。来年春には開所予定。募集については、特養が半年前くらいなので、それに準ずるのではないかとのことでした。

4. 療育手帳・ふれあいフリーパスのカード化について

療育手帳のカード化は県と3市で検討しており、令和3年度中には運用となります。紙ベースとカードを選べるようにする予定です。将来的には様々な情報を盛り込めるようにしたいというお話でした。

ふれあいフリーパスについては横浜市との共同開発を検討しています。IC開発に際して、費用が高額であるため高齢との相乗りを考えるとしても、財源の違いがあるなど課題が多いようです。

今年度検討会を設けてカード化できるように進めていきたいそうです。

『手をつなぐ』を購読しませんか！

全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙『手をつなぐ』は、知的障害のあるひとの暮らしに役立つ情報が満載です。身近な問題から福祉施策の最新情報などを年間3,900円で毎月お届けします。購読のお申し込みは、各支部役員までご連絡ください。



川崎市議会議員団との懇談会

副会長 吉野 明美

令和3年度予算要望に向けて、7月2日（木）みらいとの意見交換会、7月3日（金）公明党との政策懇談会を行いました。当会からは三役が出席して、美和会長の施策要望に続き、次の重点要望項目について担当者から説明しました。



みらい市議団の皆様

1. 災害時の支援について（施設・避難所）
2. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策について
3. 人材の確保と育成について
4. 卒業後の在宅ゼロ施策の継続と在宅で引きこもりがちな人への支援の強化
5. 相談支援事業の充実
6. グループホームの整備
7. 短期入所（ショートステイ）の拡充
8. 各区に地域で核となる地域生活支援の拠点施設の建設
9. 通所先の利用時間延長の制度作りや夕方支援の整備



公明党市議団の皆様

今年は特に、施設の浸水被害や新型コロナウイルス感染症といった、今までにない苦難を経験したことを踏まえ、施設が被災した時や本人が罹患した時・介護者が罹患した時についてのサポート体制を整備し広報していただけるように強く訴えてきました。議員の皆様のお力添えをいただき、少しでも思いが形になることを期待します。

社会福祉法人 ともかわさき

「なかはら障害者福祉施設ひらま」(中原区上平間) 開設



4月1日（水）に、拠点型障害者支援施設として中原区に「ひらま」が開所しました。障害者の地域生活のサポートのほか、地域の方やボランティアの活動の場として親しまれる場所になることを目指し見学会なども予定されていましたが、新型コロナウイルス拡散防止のため、内覧会が中止になり、施設見学も中止になり残念でした

この度、短期入所事業を開始し、利用調整に一定の目途が立ったとのことで、広く利用の申し込みを受け付けることになりました。居室は12床(男女各6部屋ずつ)で、全部屋個室、利用日は当面木曜日から土曜日、最大2泊3日です。短期入所のみで、日中短期入所は行っていません。予約は電話のみで、1次受付期間は毎月1日から10日の平日9時から4時まで、翌々月まで予約ができ、先着順ではありません。電話番号は、044-540-0907です。

(高山 君子)

かわしん ふれあい市場のお知らせ

日時 令和2年10月16日（金）10時～15時
場所 川崎信用金庫本店ロビー及びふれあい広場



ふれあいバザール溝の口（ふれあい製品展示即売会）開催のお知らせ

日時 令和2年11月12日（木）10時～18時
場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅改札外 南北自由通路



※かわしんふれあい市場・ふれあいバザール溝の口の開催は状況により、中止なることがあります。

みんなの笑顔を増やすプロジェクト（新型コロナでもつながろう！）

～ 一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会 の活動から ～

5月25日（月）全国手をつなぐ育成会連合会の『みんなの笑顔を増やすプロジェクト』（新型コロナでもつながろう！）が始動しました。



久保会長のご挨拶
(ユーチューブ公式チャンネルより)

「新型コロナウイルスに感染してしまったら、どうすれば良いのだろうか?」「感染から身を守るには、何が有効なのだろうか?」と、心の中に不安ばかりが積もっていく中、「明るい気持ちを持つことも大切だよ」と、気づかせてくれたこのプロジェクトを紹介いたします。

このプロジェクトはタイトルにもあるように、何かと自粛という言葉がつくこの頃の日常を『笑顔』で楽しく過ごせるように、そして、『笑顔』でつながりを感じられるようにとの

願いを込めて始まりました。

全国から、知的障害のある人自身や、その家族、支援者の方々などと一緒に撮った笑顔の写真や動画、知的障害のある人が制作した独創的な絵画や造形物の写真を募集し、ユーチューブやホームページ、フェイスブックなどで発信しています。このプロジェクトに応募された皆さんの『笑顔』は、気持ちをなごませてくれるだけでなく、「コロナになんか負けるものか!」という強い気持ちにもさせてくれる、すごく大きなパワーがあります。全国手をつなぐ育成会連合会ユーチューブ公式チャンネルの URL を貼りましたので、ぜひ、ご覧になってください。また、写真は、デジタルカメラまたはスマートフォンで撮影したものを、動画は、スマートフォンで撮影し、15秒以内にまとめたものを募集しているそうです。見るだけでなく、応募してみるのも楽しいのでは?と、思います。

(仁尾 智都子)

【全国手をつなぐ育成会連合会ユーチューブ公式チャンネル】

<https://www.youtube.com/channel/UC5ku3sanVaM1u6hM4MLCKVA>

【みんなの笑顔を増やすプロジェクト（新型コロナでもつながろう!）写真（動画）募集要領】

http://zen-iku.jp/wp-content/uploads/2020/05/03_egaoPh200525.pdf

「新型コロナウイルスにかからないようにするために」というイラスト入りのわかりやすいお知らせも、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会から出ています。

新型コロナウイルスの感染が広がる中、「正しく怖がる」という言葉を耳にすることがありましたが、やるべきこととやらないといけないことが簡潔に書かれていますので、ぜひ、ご活用ください。

こまめに手を洗う、うがいをする、バランスの良い食事や適度な運動といったことも感染から自分自身を守るには大事なことです。抵抗力を上げるためには、なんとと言っても『笑顔』が大事だと思います。

(仁尾 智都子)

【新型コロナウイルスにかからないようにするために】

<http://zen-iku.jp/wp-content/uploads/2020/05/0521ancov.pdf>



かわさきキャラバン隊出張講座

権利擁護委員長 仁尾 智都子

2月15日（土）社会福祉法人あおぞら共生会の職員研修会に招いていただき、かわさきキャラバン隊として初めての出張講座を行いました。

当日は、次のようなプログラムで公演し、参加された皆様に体験をしていただきました。

1. ピカピカ王国

「ピカピカ」という言葉の王国で、どうすれば意思の疎通がはかれるのか？

2. 絵にしてみよう

絵に書けないような言葉は、わかりやすいのか？

3. これなあに？

写真に写っている大きな鳥居。でも、関心があるのは？

4. のぞいてみよう！

ペットボトルめがねでのぞいた世界は・・・

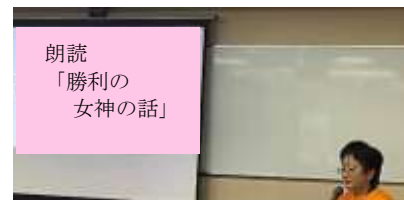
5. 軍手で折り紙

軍手をして折り紙を折るのは大変。でも、声のかけ方次第で気持ちに変化が・・・

体験の終わりにまとめをし、「勝利の女神の話」という実際にあった話の朗読をしました。

今回の研修会に参加された皆様は、いつも障害のある人の気持ちを考えてくださっている方々ですが、実際に、言葉の理解に戸惑ったり、他の人とは違った見え方を体験したりしたことから、さらに具体的に、知的障害や発達障害のある人の思いを感じてもらえたのではと、思います。

これからも、少しずつでよいので、様々な対象者に向けて出張講座を展開していけたらよいと、思っています。もし、関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ、当会のホームページまで、お問合せください。よろしくお願いいたします。



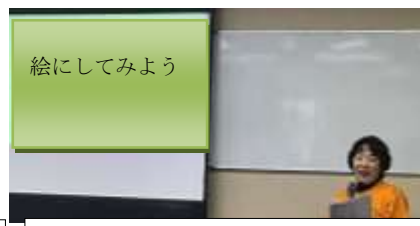
「勝利の女神の話」の朗読は、参加者の心に変化をもたらします。



「ピカピカ王国」では、代表の方に体験してもらいました。



「軍手で折り紙」では、気持ちの変化を体験できたのでは？



「絵にしてみよう」では、言葉を絵に書く体験をしました。

令和2年度 年末たすけあい運動

『慰問金（見舞金・支援金）』の申請について

毎年、地域の社会福祉協議会では「年末たすけあい運動」で寄せられた募金を、申請のあった対象世帯に配布しています。川崎区『支援金』、幸区『慰問金』、中原区『見舞金』、高津区『見舞金』、宮前区『年末見舞金』、多摩区『慰問金』、麻生区『慰問金』という名称で届けられています。ご本人が在宅で生活されていて、療育手帳A、身体障害者手帳1・2級の方などが対象（入所やグループホーム、長期入院の方は対象外）で、10月末ごろに申請期限を設定している区が多いようです。また、私たちにとって重要なことは、この配分金を各世帯に届けてくれるのが、その地区担当の民生委員児童委員ということです。

日頃、かかわることの少ない民生委員児童委員と知的障害者世帯が、お互いに認識し合うことは地域で生きていくための大切な機会だと思います。申請時期、配分金額、対象資格、名称など、それぞれの区で社会福祉協議会で違いがあります。特に今年は新型コロナウイルスの影響で、区によっては変更の可能性もあります。詳しいことは、早目にご自分のお住まいの区社協にお問い合わせみましょう。



支部通信

たかつボランティアまつり

高津支部 三浦 ルイ子

1月23日(木)てくのかわさきで開催された、「たかつボランティアまつり(ボランティア・当事者交流団体)」に参加しました。各団体の活動紹介では、スピーチやライブパフォーマンスがあり、私たちも、知的障害者親の会の活動を伝えました。今回も、障害者施設で作られたクッキーなどのお菓子がテーブルに置かれ、少しずつでも、親の会の活動や障害者施設のことに関心を持っていただけたと思います。また、2月16日(日)に開催された「てくのまつり2020」にも、パネル展示で参加しました。



施設見学会開催(宮前支部)

宮前支部 小澤 千枝



2月12日(水)多摩区に新設された社会福祉法人ともかわさき運営のグループホーム「なかのしま3、4」を会員3名で見学しました。駅から近いものの静かな住宅地で、2階建ての1階は男性用の「なかのしま3」2階は女性用の「なかのしま4」それぞれ定員5名です。キッチン、洗濯室、リビングルームなどの共有スペースはゆったりとして、個室は各室壁紙が違う明るい雰囲気、「お洒落な部屋ね」という感想も聞かれました。世話人さん

のお話から、入居者の生活とそれを支える仕事の大変さがよくわかりました。子どもの将来の住まいや暮らしを想像し、必要な支援について考える機会となりました。このような、知的障害者が地域で安心して生活できる住まいが、もっと増えるようにと願います。

私たちの広場「料理教室」

支援者 大橋 和之



2月9日(日)てくのかわさき調理実習室で料理教室を行いました。今回はスパゲッティを作りました。スパゲッティ1種類だけでは寂しいので、「ミートソース」と、「きのこ」の2種類のスパゲッティと野菜サラダとデザートというメニューになりました。皆さんは毎年いろいろなものを作っているの、買い物から包丁の扱い、炒める動作も

なれたものですが、フライパンが小さく、こぼさず炒めるのに苦戦していました。今回は初めての方もいて、周りの先輩がたと一緒に楽しそうに料理していました。味はやや濃いめでしたが美味しく仕上がって、皆さん満足そうにいただけていました。これからも料理教室を通して本人の皆さんの食生活を豊かにしていければと思います。



《令和2年度 今後の活動予定》

8月 9日(日) 第4回実行委員会	9月 13日(日) 川崎スポーツの会日帰りバス研修会
10月 11日(日) 第5回実行委員会	11月 8日(日) 講演会(勉強会)
12月 13日(日) 第6回実行委員会	1月 10日(日) 第7回実行委員会
2月 14日(日) 料理教室	3月 14日(日) 第8回実行委員会

《自由投稿》

幸支部 島田 可奈子

今までの生活スタイルを一転させるようなコロナウイルスの影響で、支援学校は一斉休校となりました。高等部卒業式は日程が早まり3月3日(水)に行われました。我が子の卒業証書を立派に受け取る姿や、歌い、語る姿を見て、幼児期からの成長が思い出され、涙が止まりませんでした。学校での様々な経験に深く感謝し、これからの社会生活でも、本人が今までの様な笑顔でいられる様に、親として出来る事をしていきたいと思ひます。

川崎市関係主要職員の紹介（令和2年4月1日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	宮脇 護
障害保健福祉部長	西川 洋一
障害計画課長	下浦 健
障害計画課 担当課長〔事業者指導〕	堺 靖志
障害福祉課長	砂川 康弘
精神保健課長	谷 浩昭
障害者雇用・就労推進課長	神林 高之
総合リハビリテーションセンター設置準備担当課長	右田 佳子
精神保健福祉センター所長	竹島 正
精神保健福祉センター 担当課長〔庶務〕	山田 敦
こころの相談所長	柴崎 聡子
障害者更生相談所長	左近 志保
障害者更生相談所 担当課長（発達相談支援）	中山 浩
障害者更生相談所 担当課長〔南部地域支援室〕	伊藤 佳子
井田障害者センター所長	塚田 和広
百合丘障害者センター所長	宮川 真理子

令和元年度特別支援学校等卒業生の進路状況

1. 卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	62
市立田島支援学校	49
市立聾（ろう）学校	2
県立鶴見養護学校	1
県立中原養護学校	27
県立高津養護学校	33
県立麻生養護学校	30
市外特別支援学校	16
その他の学校	58
合計	278



2. 近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
日 中 活 動	就労移行	32	23	28	10.1%
	就労継続	16	12	28	10.1%
	生活介護	77	86	62	22.3%
	自立訓練	0	9	15	5.4%
	地域活動支援センター	7	5	2	0.7%
	計	132	135	135	48.6%
入所		1	1	1	0.4%
就職		61	62	63	22.7%
職業訓練機関		8	6	3	1.1%
進学		7	8	13	4.7%
その他		75	46	63	22.7%
合計		284	258	278	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和2年1月30日～令和2年7月6日まで》

<各種会議、行事>

1月30日(木)	第5回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
2月15日(土)	かわさきキャラバン隊出張講座	かわさき保育会館
19日(水)	第10回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
25日(火)	川崎市立中央支援学校PTAとの懇談会	川崎市立中央支援学校
26日(水)	第5回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
3月24日(火)	令和2年度川崎市予算要望回答	ソリッドスクエア
4月7日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
6月10日(水)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
19日(金)	定時総会書面議決	地域福祉施設「ちどり」
23日(火)	令和2年度第1回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
30日(火)	令和2年度第1回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
7月6日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

1月31日(金)	令和2年成人を祝う会第5回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
2月6日(木)	3団体会長会議	地域福祉施設「ちどり」
12日(水)	全国手をつなぐ育成会連合会総会	ルノアール八重洲
13日(木)	川崎市障害者施策審議会	ソリッドスクエア
14日(金)	関東甲信越ブロック代表者会議	東京ベイ幕張ホール
3月10日(火)	日本発達障害連盟理事会	日本発達障害連盟事務所
17日(火)	障害者差別解消地域協議会	ソリッドスクエア
25日(水)	川崎市社会福祉事業団評議員会	川崎市社会福祉事業団事務所
6月18日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
24日(水)	(社福)育桜福祉会評議員会	(社福)育桜福祉会事務所
29日(月)	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合福祉センター
7月2日(木)	川崎市議会議員団みらいとの懇談会	川崎市役所第2庁舎
3日(金)	川崎市議会議員団公明党との懇談会	川崎市役所第2庁舎

賛助会費(順不同・敬称略)

小林 文夫 高津区梶が谷 5,000円 吉田 美智子 中原区刈宿 5,000円
*1,000円以上の方を記載しています

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 **の3事業を実施しています。**

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬費用補償金	虐待・遺棄・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償金 ※プランによって異なります
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・有保険金 (任意・選択によるケガのみ対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業災害中事故対応費用補償金 ※プランによって異なります

※上は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用特約、職業災害中事故対応費用補償特約、地震・火災・津波等賠償特約セット

生活サポート総合補償制度

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・振替
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館 2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢田4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisepo.jp/index_qhmp.php

2019年11月現在の内容です。(ID-004329_20214)

※毎月1日付で加入できます。令和2年度もご加入よろしくお願ひします。



◆ 3/2 (月) の多摩支部の新年懇親会は、中止になりました。

編集後記

今回、新型コロナウイルスのため、半年ぶりの発行となりました。自粛生活を経験し、今まで、どんなに平和で幸せであったかを思うとともに、新しい生活様式に戸惑いを感じています。これからは、すべての事を大切にして、会員の皆様へ情報の発信をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。(安達ゆかり)

【もくじ】

- P. 1 寄稿 全国手をつなぐ育成会連合会 専務理事 田中正博
- P. 2 P. 1 つづき
- P. 3 新年度会長あいさつ／第8回総会の報告
- P. 4 支部代表者・各委員会委員・相談員の紹介
- P. 5 令和2年度川崎市予算要望・回答／「手をつなぐ」購読のお願い
- P. 6 川崎市議団との懇談会／「なかはら障害者福祉施設ひらま」開設／かわしんふれあい市場おしらせ／ふれあいバザール溝の口おしらせ
- P. 7 みんなの笑顔を増やすプロジェクト／「コロナウイルス」にかからないようにするために
- P. 8 かわさきキャラバン隊出張講座／年末見舞金申請について
- P. 9 支部通信／私たちの広場／自由投稿
- P. 10 川崎市主要職員紹介／卒業生進路状況／近年の卒業生の進路状況
- P. 11 親の会活動報告／賛助会費／やまゆり広告
- P. 12 各支部新年会写真掲載／編集後記／もくじ／発行責任者

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>